



世界に希望を生み出そう

会長 辻 啓明 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
副会長 下郡山 永一 例会場 レンブラントホテル海老名
幹事 松本 健司 事務局 海老名プライムタワー10階
副幹事 上 蘭 朗 海老名市中央2-9-50
会長エレクト 篠原 康史 TEL: 046(233)5122
編集:佐藤 まどか 飯島 博之 FAX: 046-233-3322
窪 悠久 下郡山 永一 上 蘭 朗 E-mail: keyakirc@alto.ocn.ne.jp

第 1253回 例会 2023年（令和 6年） 3月14日（木）

本日の例会

3月14日 チャーターナイト記念例会

今後の予定

4月4日(木) 川野会員「私にできる事・・・」
4月11日(木) 少年少女ミニバスケットボール大会について
4月21日(日) 少年少女ミニバスケットボール大会

第1252回 例会

会長挨拶

本日のゲストスピーカーは、海老名ロータリークラブ しみ橋酒造の橋場雄一様です。本日は卓話よろしくお願いたします。2月26日に次年度の

第一回予定者会議がありました。いよいよ篠原年度が始まります。自分の年度は、あと3月、4月、5月、6月とあと4ヶ月になります。残す例会も少ないですが、一回一回楽しみながら皆さんと過ごしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。



3月のお誕生日



海老名から世界へ 海老名ロータリークラブ 泉橋酒造 橋場友一様

最近では地域愛や地元の価値を重視する風潮が高まっていますが、私はそうした意識がほとんどない状態で育ちました。もし酒蔵で生まれるなら、なぜ新潟県の有名な酒蔵ではなかったのだろうと考えたことがあります。



学生の時、私たちの家の周りの田んぼを全部なくしたいと思っていました。米から作る酒蔵へと事業を転換することに力を注ぎました。近年10年でその変革はほぼ形になりました。現在は、日本酒を海外で売ることに挑戦しており、農業にも力を入れています。私たちの会社だけでなく、協力する農家さんたちとともに田んぼを増やしていますが、後継者の不足が問題となっています。私たちの会社は、1857年から続く神奈川県にある酒蔵で、地元で栽培した米を使用し、一貫して酒造りを行っている数少ない酒蔵の一つです。私たちは、地元神奈川県豊かな自然と共に歩んできました。技術の進歩を取り入れながら、お米の栽培から酒造りまでを自社で行い、日本酒の美味しさと日本の風景を守り続けています。また、日本酒の海外市場での展開にも力を入れており、そのためのマーケティング戦略を練っています。海外のワインビジネスに倣って、日本酒の魅力の世界に伝えていきたいと考えています。私たちの酒蔵は、地元の農業と密接に関わりながら、日本酒文化を未来に繋げていくために、日々努力を重ねています。

出席報告

会員数	出席数	出席率
35名	26名	68.57%

また、日本酒の海外市場での展開にも力を入れており、そのためのマーケティング戦略を練っています。海外のワインビジネスに倣って、日本酒の魅力を世界に伝えていきたいと考えています。私たちの酒蔵は、地元の農業と密接に関わりながら、日本酒文化を未来に繋げていくために、日々努力を重ねています。

本日の例会場

